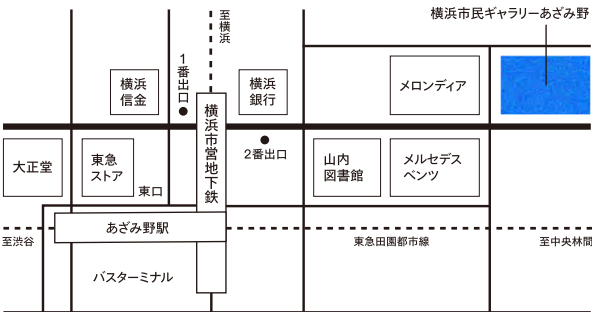


[お問合せ]
横浜市民ギャラリーあざみ野 [公益財団法人横浜市芸術文化振興財団]
〒225-0012 横浜市青葉区あざみ野南 1-17-3 アートフォーラムあざみ野内
Tel. 045-910-5656 <https://artazamino.jp/>
SNS [Facebook / Instagram / X] @artazamino

[交通案内]
東急田園都市線「あざみ野駅」東口 徒歩5分
横浜市営地下鉄「あざみ野駅」1・2番出口 徒歩5分
駐車場：23台(有料)



[入場料]
一般 500円 20歳未満および学生・65歳以上無料
*各種障害者手帳をお持ちの方と介護者1名は無料(ミライロID可)
*10月24日、25日(アートフォーラムあざみ野 21th アニバーサリー)は入場無料

[関連イベント]
申込方法・詳細はウェブサイトをご確認ください。

アーティストによるギャラリートーク
日時 | 10月10日(土)
1部 14:45-15:30 石崎朝子、中島晴矢、山口幸士
2部 15:45-16:45 川、谷山恭子、トランスフィールドスタジオ、松田修
会場 | 展示室1・2
料金 | 無料(事前申込不要、要展覧会入場券)

街を歩く、街を聴くー谷山恭子アーティストトークー
日時 | 10月11日(日) 14:00-15:00
講師 | 谷山恭子
会場 | 3F アトリエ
定員 | 50名(要事前申込、先着順)
料金 | 無料(展覧会入場券をご提示ください)

ニュータウン路上観察ーアーティストとあざみ野をディグるー
日時 | 10月31日(土) 13:30-16:30 ※荒天の場合は11月1日(日)に変更
講師 | 中島晴矢、石崎朝子
会場 | 3F アトリエ、あざみ野周辺
定員 | 10名(要事前申込、先着順)
料金 | 3,000円

担当学芸員によるミニギャラリートーク
日時 | 10月24日(土) 13:00-13:30
10月25日(日) 11:00-11:30
会場 | 展示室1・2
事前申込不要、参加無料(当日は21th アニバーサリーのため入場無料)

[保育について]
施設内に保育室があります。詳しくはウェブサイトをご覧いただき、
ご利用の際は運営者(アートフォーラムあざみ野 子どもの部屋
TEL: 045-910-5724)へお問合せください。
<https://www.women.city.yokohama.jp/a/nursery/>

[同時開催]
・フェローアートギャラリー vol.59 西澤美枝展
会期: 2026年9月15日(火)ー11月29日(日) 会場: 2F ラウンジ
・Collection in the Lobby 自然観察とカメラ
会期: 2026年9月26日(土)ー10月18日(日) 会場: 1F エントランスロビー
・Collection in the Lobby いろいろなかたちの一眼レフ
会期: 2026年10月20日(火)ー11月8日(日) 会場: 1F エントランスロビー

[次回開催]
あざみ野フォト・アニユアル 2027
・細倉真弓×横浜市所蔵カメラ・写真コレクション(仮題)
・横浜市所蔵カメラ・写真コレクション展
会期: 2027年1月23日(土)ー2月21日(日)

あざみ野
コンテンポラリー
コミュニケーション

ニュータウン、インター 都市とわたしたち の関係

石崎朝子
Ishizaki Asako

川
Kawa

谷山恭子
Taniyama Kyoco

トランスフィールドスタジオ
Transfield Studio

中島晴矢
Nakajima Haruya

松田修
Matsuda Osamu

山口幸士
Yamaguchi Koji

2026.10.10
ー11.3

会期 2026年10月10日(土)ー11月3日(火・祝)
会場 横浜市民ギャラリーあざみ野 展示室1・2
開場時間 11:00ー18:00 休館日 10月26日(月)

主催: 横浜市民ギャラリーあざみ野
(公益財団法人横浜市芸術文化振興財団)
助成: 一般財団法人地域創造
協力: 日本産業史研究所/街のはなし実行委員会/無人島プロダクション
(公財) 横浜市ふるさと歴史財団 埋蔵文化財センター
横浜市立山内小学校/横浜市歴史博物館



横浜市民ギャラリー
あざみ野

Suburban Interference
Relations with Urban Space Azamino Contemporary vol.17

都市を

歩く

ほぐく



《Elevation, Stream》2024 撮影：Hyejeong Park

連れる



《いるか》2023

都市や土地との関係は、あらかじめ与えられるものだけではなく、見方や関わり方によって選り直すことができます。「あざみ野コンテンポラリー」第17回となる本展では、郊外・ニュータウンなどの「都市」や「土地」のイメージをめぐり、人と場所との関係がどのように結ばれ、揺らいできたのかを、多様な作品を通して考えます。作品と都市との関わりをあらわす「乱入する」「なぞる」「連れる」などのキーワードとともに、7組のアーティストによる映像、インスタレーション、絵画、写真など約100点の作品を展示。さらに、横浜市民ギャラリーあざみ野が建つ場所にかつて存在した赤田古墳群の発掘調査資料などを紹介します。さまざまな表現が干渉（インターフェアレンス）しあい、都市とわたしたちの新たな関係を見出します。

川 Kawa

2016年に荒川晋作と関川徳之、2人のフォトグラファーが始めたプロジェクト。チーム名は名前に共通する「川」の文字に由来。十代の頃よりスケートボードとカメラに没頭し、「スポット」を求めて津々浦々を流れる。2020年からは半年に一冊のペースで本をリリース。



《Hoshito Tamura, ollie》2020

乗る

松田修 Matsuda Osamu

1979年兵庫県生まれ。映像や立体、ドローイングなどさまざまなメディアを用いた表現で、社会に潜む問題や現象、風俗をモチーフに、「生」や「死」といった普遍的なテーマに取り組む。近年は、コロナ禍における貧困層の現実など、自身の生い立ちや経験をふまえた当事者意識に基づく作品を多数発表。

石崎朝子 Ishizaki Asako

1996年栃木県生まれ。アーティスト。彫刻、映像、写真を用いて制作活動を行う。都市の中に身を置き、身体的な経験を通して観測することや、街中に残る痕跡の収集を起点に、都市の風景に潜む別の見方を立ち上げる作品を発表している。



石崎朝子 + 加藤広太《City Statement》2025 撮影：木暮伸也 (Lo.cuLpstudio)

なぞる

谷山恭子 Taniyama Kyoco

1972年愛知県生まれ。幼少期をマレーシア・ボルネオで過ごし、2018年よりベルリン在住。土地に根ざした記憶や素材への関心から、インタビューやフィールドワークを通して得た語りやインスピレーションを、音や彫刻、映像のインスタレーションへと再構成。人と場所の関係性や、そこに潜む見えないつながりを探り続けている。



《Sound from the Golden Age》2021

聴く

乱入する

中島晴矢 Nakajima Haruya

1989年神奈川県生まれ。近代文学・サブカルチャー・都市論などを補助線に、現代美術・文筆・ラップといった領域横断的な活動を展開。ユーモアとアイロニーを散りばめたアクチュアルかつ批評的な表現をミクストメディアで実践している。



《バリ・トワード in ニュータウン》2014

応じる

山口幸士 Yamaguchi Koji

1982年神奈川県川崎市生まれ。スケートボードで街を滑っていた視点を軸に、日常の風景やオブジェクトを通して言葉にはできない自身の感情や時間の流れ、背景にある物語や歴史が透けるような絵画表現を試みている。



《Untitled》2023

遡る

都市に